

地域医療構想を踏まえた今後の役割について

区分	医療機関名	所在地	医療計画(別表)に記載の医療機能(平成30年1月29日現在)																回復期機能が区域内で不足する場合、一層担う考え	地域医療構想を踏まえた今後の役割について(一部、資料2・資料3から抜粋)					
			がん診療連携拠点病院等	がん医療を提供する病院	高度救命救急医療機関	脳血管領域における治療病院	回復期リハビリテーション機能を有する医療機関	高度救命救急医療機関	循環器領域における治療病院	心血管疾患リハビリテーション実施病院	3次救急	2次救急(輪番制参加病院)	2次救急(搬送協力病院)	災害拠点病院	分娩	検診のみ	周産期母子医療センター	地域の小児基幹病院		へき地へき地医療拠点病院	在宅医療支援病院	地域において今後担うべき役割	今後持つべき病床機能	その他見直すべき点	診療科の見直し
公立	豊橋市民病院	豊橋市青竹町字八間西50番地	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無	救命救急センター・総合周産期母子医療センター等を有する東三河の中核病院として、地域完結型医療の一翼を担う (事務局においてプランから抜粋)	高度急性期及び急性期医療の機能を果たす (事務局においてプランから抜粋)		無
公立	豊川市民病院	豊川市八幡町野路23番地		○	○	○	○											○		無	【5疾病・5事業に対する具体的な取り組みをプランに記載】	主に高度急性期・急性期機能を担いつつ、一部回復期機能を備えることで同医療圏における役割を果たしていく (事務局においてプランから抜粋)		あり	
公立	蒲郡市民病院	蒲郡市平田町向田1番地1		○		○	○														無	脳卒中や心筋梗塞など発症から治療までに一刻を争う疾患に対応する急性期医療の維持と拡充は、引き続き地域医療において大きな役割を果たす (事務局においてプランから抜粋)	引き続き急性期医療に軸足を置きつつも、全体として比重の高まった地域包括ケア病床の機能・役割を十分に活用した「治し支える医療」の提供を行っていく (事務局においてプランから抜粋)		無
公的	独立行政法人国立病院機構豊橋医療センター	豊橋市飯村町字浜道上50		○		○	○														あり	豊橋市民病院と連携して、幅広く東三河南部地域及び湖西市等を支える医療を展開していきたい (事務局においてプランから抜粋)	東三河南部地域における状況を踏まえ、急性期の一部の回復期病床への移行を検討する (事務局においてプランから抜粋)		無
公的	愛知県厚生農業協同組合連合会渥美病院	田原市神戸町赤石1番地1		○		○	○														未定	急性期医療を中心とし、回復期、療養期、までを担う「事業所完結型医療提供」を展開する (事務局においてプランから抜粋)	一定の急性期機能を担っていくとともに、地域医療を守る理念の基、住み慣れた地域で医療を継続的に受けられるよう、回復期(地域包括ケア病床)・慢性期(療養病床)も備えた病床体制を維持する (事務局においてプランから抜粋)	医療圏内だけでは計り得ない地理的な制約等による医療提供体制の偏在性を考慮した地域医療計画の策定が必要と考える。 医療機関全体として、今後の医療需要の推移を加味して最適な病床規模に向けて検討する。 (事務局においてプランから抜粋)	無
救急医療等	医療法人澄心会 豊橋ハートセンター	豊橋市大山町字五分取21番地の1							○		○											高度急性期医療、循環器疾患(循内、心外、脳外)治療の専門病院	将来的に需要を勘案して整形外科も視野	地域医療連携の推進	無
救急医療等	成田記念病院	豊橋市羽根根本町134		○							○										無	二次救急病院として急性期の医療機能を保持し、得意分野においては高度先進医療機器を用いた専門医療を提供していく。	地元の急性期病院として、救急医療を強化していく上で、急性期病床を維持していく必要があるが、地域ニーズを踏まえ、病床整備についての検討は必要と考えている。	高齢者の増加で、より一層医療需要は増える予想される為、医療資源を効率的に投入できる体制作り。	無
救急医療等	光生会病院	豊橋市吾妻町137		○																	未定	急性期として外傷・痕手術を主として行なっていく。高齢者独居の急性期疾患(肺炎等)に対応していく	専門性を生かした医療を展開するため、急性期病床は必要である。当院の規模では回復期は一時的な受け入れにとどまると思われる	病床稼働率は80%~90%で時期により波がある。繁忙時だと看護師不足で7:1維持がむづかしいこともある	あり
救急医療等	総合青山病院	豊川市小坂井町道地100番地1		○		○	○				○										あり	地域の需要に合った機能を維持しつつ、全体に病床の足りない回復期機能の役割も必要と考える。	回復期機能を提供する病床の増床について検討する 慢性期病床を回復期病床へ	病院全体として、病床稼働率が低く、病床の転換を必要と考える必要があると考えざるおえない。	無

注) 公立:新公立病院改革プラン策定対象医療機関  
 公的:公的医療機関等2025プラン策定対象医療機関(新公立病院改革プラン策定対象医療機関を除く公的医療機関等、国立病院機構及び労働者健康安全機構が開設する医療機関、地域医療支援病院、特定機能病院)  
 救急医療等:救急医療等を担う中心的な医療機関